

福井県感染症発生動向調査速報

＜＜令和2年＞＞

＜週報＞ 第13週（令和2年3月23日～3月29日）

発行日：令和2年4月1日

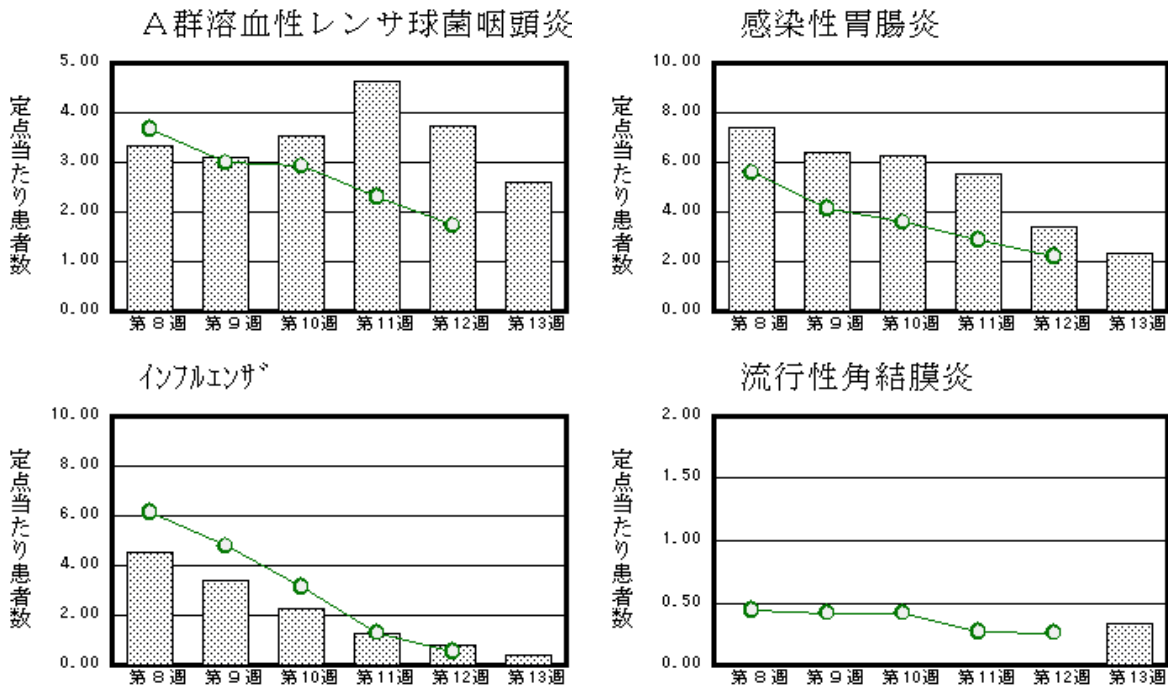
発行：福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①A群溶血性レンサ球菌咽頭炎60名(2.61名) ②感染性胃腸炎54名(2.35名) ③インフルエンザ14名(0.38名) ④流行性角結膜炎1名(0.33名) ⑤伝染性紅斑7名(0.30名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(60名) ②感染性胃腸炎(54名) ③インフルエンザ(14名) ④伝染性紅斑(7名) ⑤咽頭結膜熱(6名)
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は60名です。定点当たり報告数は減少しました(3.74名→2.61名)。地域別にみると、坂井地区5.00名、丹南地区4.40名、二州地区2.00名、福井市地区1.86名、奥越地区1.50名、若狭地区0.50名の順となっています。
- 【感染性胃腸炎】報告数は54名です。定点当たり報告数は減少しました(3.43名→2.35名)。地域別にみると、二州地区5.67名、坂井地区3.00名、丹南地区2.40名、若狭地区2.00名、福井市地区1.43名、奥越地区1.00名の順となっています。
- 【インフルエンザ】報告数は14名です。定点当たり報告数は減少しました(0.81名→0.38名)。地域別にみると、奥越地区1.33名、丹南地区0.88名、福井市地区0.27名の順となっています。
- 【流行性角結膜炎】報告数は1名です。定点当たり報告数は増加しました(0.00名→0.33名)。地域別にみると、丹南地区1.00名となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2020年第11週(3月9日～3月15日)

発生動向総覧	<第11週>インフルエンザの定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	<p>◆海外感染症情報</p> <p>米国に対する感染症危険情報の発出(レベル引き上げ)／全世界に対する感染症危険情報の発出(新規)／エジプトに対する感染症危険情報の発出(新規)／欧州各国に対する感染症危険情報の発出(一部の国・地域のレベル引き上げ(新規))／新型コロナウイルスの感染拡大に伴う海外のクルーズ船に関する注意喚起</p> <p>◆その他</p> <p>新型コロナウイルス感染症関連情報について／風疹に関する疫学情報(2020年3月18日現在)</p>
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
 - 2 類感染症：結核（丹南2名）の報告がありました。
 - 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症（奥越1名）の報告がありました。
 - 4 類感染症：報告はありませんでした。
 - 5 類感染症全数把握対象：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（坂井1名）の報告がありました。
- 指定感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市5名、丹南7名）の報告がありました。

類型	病名	年齢							
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	
2類	結核								2
3類	腸管出血性大腸菌感染症				1				
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症								1
指定感染症	新型コロナウイルス感染症		1			3	5		3

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和2年 第13週 令和2年3月23日(月)～令和2年3月29日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(12週)
インフルエンザ (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	3 0.27			4 1.33	7 0.88			14 0.38	30 0.81	2654 0.54
小児科 (23)	RSウイルス感染症	1 0.14				1 0.20			2 0.09	2 0.09	494 0.16
	咽頭結膜熱	1 0.14		2 0.67	1 0.50	2 0.40			6 0.26	8 0.35	799 0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 1.86		15 5.00	3 1.50	22 4.40	6 2.00	1 0.50	60 2.61	86 3.74	5408 1.72
	感染性胃腸炎	10 1.43		9 3.00	2 1.00	12 2.40	17 5.67	4 2.00	54 2.35	79 3.43	6929 2.20
	水痘				1 0.50	2 0.40			3 0.13	4 0.17	829 0.26
	手足口病										254 0.08
	伝染性紅斑	1 0.14		1 0.33	2 1.00		1 0.33	2 1.00	7 0.30	14 0.61	664 0.21
	突発性発しん	1 0.14				1 0.20	1 0.33		3 0.13	7 0.30	909 0.29
	ヘルパンギーナ									2 0.09	42 0.01
	流行性耳下腺炎										148 0.05
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*		*	*			1 0.00
	流行性角結膜炎					1 1.00			1 0.33		183 0.26
基幹 (6)	細菌性髄膜炎										3 0.01
	無菌性髄膜炎									1 0.17	7 0.01
	マイコプラズマ肺炎		*	*			1 1.00		1 0.17		115 0.24
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										2 0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										7 0.01
	インフルエンザ(入院患者数)										25 0.05

インフルエンザは、小児科定点+内科定点
細字は定点当たり患者数

*欄には定点はありません

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和2年第13週 令和2年3月23日(月)～令和2年3月29日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月				1							～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月		1		3							～11ヶ月									
1歳		1歳	1	3	5	14				2			1歳									
2歳	1	2歳	1	1	3	4				1			2歳									
3歳	1	3歳		1	9	6			1				3歳									
4歳	2	4歳			6	7	1						4歳									
5歳	3	5歳			9	1	1		1				5歳									
6歳	3	6歳			16	1			2				6歳									
7歳	1	7歳			2	4			1				7歳									
8歳	2	8歳			2	5			1				8歳									
9歳		9歳			1				1				9歳									
10～14歳		10～14歳			2	5	1						10～14歳					1				
15～19歳		15～19歳			1								15～19歳									
20～29歳		20歳以上			4	3							20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳	1												40～49歳		1							
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合計	14	合計	2	6	60	54	3		7	3			合計		1			1				
前期計	30	前期計	2	8	86	79	4		14	7	2		前期計				1					
当期間/前期	0.47	当期間/前期	1	0.75	0.7	0.68	0.75	***	0.5	0.43		***	当期間/前期	***	***	***		***	***	***	***	
増減数	-16	増減数		-2	-26	-25	-1		-7	-4	-2		増減数		1		-1	1				

***は前期計が"0"のとき